モザイク・ラセン

はじめて彼の夢を見たのは
8つのときだった
アー……ン……
あたしは白い鳥になり飛んでいる
谷間にさしかかると黒い鳥がいる
だァれ？
だァれ？
風のぐあいかあたしの声は相手にとどかない
……ミリディ
アーン……
へんだよ
ママの小指が……
緑色なんだ……
……こわいよ……
不安な夢
夜ごとの訪問者のようにあたしは谷を訪れ
年月がたつごとに彼もあたしも成長していった

最後に彼の夢を見たのは
三か月前だった
……ミリディアン
もうだめだ
父も母も全身緑色だ左目だけを残して
いずれ緑色は左目にもたっする
そしたらきっと次は
ぼくの番だろう
それからぷっつりと
夢はとぎれてしまった
美羅!

どったの！ボーッとして？ミラ？
あァサマティ

考えてたのあたしたちの青春と世界の限界について
結論は？
女学校の寮って
たいくつ!!

ふふ8つの入学時から変わりばえのしない大家族だもんね
手紙きた？お父さんから
きたわよ地球の果てから
考古学者なんて穴掘り人間だわよ

はいはいおしゃべりやめて音合わせしてくださいね

ハーイミラサマティいーもの見せてあげる
なーにボルダ

ハンサムでしょう？ラドリ・マッキャベリ
トラディショナルのモデルよ
ガキね――モデルなんてねーミラ…
まさか！
ひと目惚れ？
なななまえなんて？
そこ音合わせは？
かったんっ！
ラドリ・マッキャベリだって
新顔のモデルね好み？ミラも
好みもなにも！
まてよ……！似た顔ってのもありうる
それにあの夢もう三か月も見てないわふられたのかもしれないし
アホらしい自分の夢にふられるなんて
ラド………ラドリ・マッキャベリね

要するに夢は夢よね
トン
……音色
なにかの符合があるにしろ……
音調……
?
ミラ?
音節
えーと
ラドリ・マッキャベリね
音階
振動
ラドリ
ラドリ
ラドリ
ミラ!
先生
ミラが!
──共鳴!
──ミリディアン──!!
ラド!?

ゴォォォォォォォ
ミリティアン!
火事!?
火事だ!
ラドリ逃げて!
早く!!
ラドリ!!
かあさ……

かあさん
——かあさん!
ラドリ!

逃げて!
あれはちがう
人間じゃない
えたいの
しれないものだ!
逃げて!
ラドリ!
ラドリ!

消防車がきた！
窓から逃げて！
窓よ！
つぎは
ぼくの番だ
ぼくの番だ
三階の窓に
人がいるぞ！
きて
ここよ！
ここよ！
ここよ
早く
ぼくの番だ
だめ――っ

ぐわっ
だれ？
だれ？
ドアをささえていてくれるのは
だれ？
美羅(ミラ)
だいじょうぶ…？

緑色の人間…？
テレパシーかもしれない
うちの祖父はよく予知夢を見たものよ
予知夢……
ぼくの番だ
ドアをささえたのはだれ？
あの人はラドリはつかまったの？
それとも
夢なのサマティ
でも火事すごくリアルだった
ヤッホーミラ！サマティ
ボルダ
ねーロンドン行かなーい
わたし来週から三日ほど行くの
ママと新しいパパに会いに
ロンドン？
いっしょに出なーい
ロンドン
行く！わたし行く！
トラディショナルはロンドンの出版社だ！

もしもし
トラディショナル
ですか？
へーオドロキね
この子ミラの
知りあい
だったの
ええ
9月号の
モデルの
件で…ええ
G・G
モデルクラブの
モデルだって―！
G
G
マッキャベリ…？
パラ
パラ
…いないわね
でも…！
確かに
ここの
きっと
バイトの
モデルよ
一回きりの
ごめんね
ハーイ
ハイ
リンゴ
なに？
彼女ら
かわいいね
マッキャベリって
モデルを
訪ねて
きたのよ
でも
え…
ラドリのこと!?
ちょーーっ
ちょっと！
彼女ら！

そ！
ぼくなんよ
ラドリの写真
とったの
ピカデリーで
モデルさがしてる
とき　めっけてね
オレの下宿に
一か月ぐらい
いたかな
家出人
だったんよね
彼の両親て
ふつうの
……両親？
でも本がでると
写真を見た両親が
むかえにきて
帰ってったよ
ホープにね
そうよ？
緑色は
ラドリにしか
見えなかつた
んだつたわ
それがさ
……
家出なら
写真だしたら
すぐバレるじゃん
…そしたらね
ラドリは
……
両親が
くること
かくごして
たよ
だけど…うまく
いけば…
彼女が…ぼくを……
見つけるかも
しれないと思ったんだ
ミリディアン
………!?
そーそ！
変な名前！
子午線なんて！
じゃ
彼女って
きみのこと？
オレだれかくるか
なアくるかなアって
思ってたんだ！
幼なじみか
なにか？
ミリディアン
……ええ

ミリティアン
ラドリ
ぼくの番だ
ホープね
ホープに行かなけりゃ
じゃねー わたし ママに 会いに行くわ
あさってには サボイホテルに きてね
一緒に学校に 帰らなきゃ
うん じゃあね ボルダ
TAXI
なん番の プラットホーム? ホープ行きは
まず ブライトン まで行って ……
おーい
こっち こっち
リンゴ!
ぼくも ホープへ行くよ
一度ラドリを 訪ねたいと 思ってたんだ!
まにあう かしら ……
ガタタン ゴトトン
ん? なんて?
夢を見たのよ
ラドリの家は 焼けちゃった かもしれないわ
はァ?

ザザ
まァ マッキャベリさんのお知りあい? 大変でしたよ
先週の金曜ね 全部焼けちゃって ……ご両親も ……
消防車が やっと 息子さんだけを 助けたの やねうらから
ええ 息子さんは オーバー・ヒルの 病院にね
ショックから 回復しないそうよ ……気のどくに
……
ミラ あの夢は やはり予知 だったのよ!
それ 虫の知らせ って やつだろ…
そうだっ たのかァ
恐ろしかった ろうな たまらん ……!
……
わたしも こわい
オーバー・ ヒル
なんだか こわい

ああ
先週入院した
ラドリ・
マッキャベリの
知人…？
これはこれは
いや
よかった！
実は昨日も
知人という人が
きてね
マニ・ハナと
いう紳士だ
ラドリを
引きとってもいいと
いわれるんだよ
マニ・ハナ？
あの子は
元気だ
奇跡的に
火傷も
ほとんどない
ただ――
ショックで
――
口をきか
ないんだ
サクサクサクサクサクサクサク
ラドリ！

…なんて
いっていいのか
…オレ…
驚かせ
ないようにね
ひとりずつ
キィ
よかった！
──まにあった！
会えないかと
思った
ラドリ
……
もしもし…
は？

ラドリ
ラドリ
わたしよ
ミリディアンよ！
眠ってる
心から眠ってる
目を閉じてる
ショックで
どうし…
カチン
チ――ン
音叉の音は
耳に入るのか
……
でもどうしよう
会えたはいいけど……
これでは
なんの
話も
できないわ
サマティ…

美羅・白川ですか？
ぎょっ
！
わたしはバーダ・マニ・ハナマッキャベリ氏の古い友人です
ミラこのかたスリランカからいらしたんですって！
サマティ…
それがね！このかたうちの祖父を知ってらっしゃったのよ
ええ二　三度ダブリンでお会いしました
よく予知夢を見られるかたでしたね
手袋をしてる
指が緑色じゃないでしょうね
英国は九年ぶりです
きてみたらマッキャベリ家に不幸が起こっていて驚きました
虫が知らせたのかもしれません
予知夢ならミラも見たわ
サマティ
彼の夢をね小さいころからね　ミラ
ほう……

たぶん いろんな夢をごらんになるのでしょうね
なにようからかってるの？
ええ いっぱい見るわ 変なのを
天使が山ほど飛んでたり
二つも三つも太陽がかかってたり
洪水だの火山だの
ほう おもしろい 二つも三つも太陽が？
夢です ただの
マニ・ハナさん ラドリを引きとるんですか？
ええ ホープのはずれに
じつに おもしろい
わたしの買った家があるので そこに
……

ラドリ
きゃ――っ
ズズズズズ

ズン
ラドリが!!
だめだ きみまで つかまる!!
ど どうしたの? ミラ?
なんだ!?
ラドリ
ズズズ
ズ…!

いない!
いない!
消えちゃった
どうして
止めたのよ
つれてかれ
たわ
やっと
会えたのに
助けられ
たのに
ミリディアン
!
急げば
まだ
まにあう
ミリディ
アン?
消えた
…みたい
ばかな
井戸か
なんかに
落ちたんじゃ
ないか
いやーワシ
アル中なおって
なかったのね
また幻覚
見るなんて
……
ミリディアンて?
サマティが
話したの?
わたしには
わかるんだ

きみなら
つれもどせる
ラドリを
こちらがわの
世界に
どうやって……
彼はまだ
迷路の途中だ
急げば
まにあう
やつらが
すっかり
よびこむまえに
おい
なんの
話だ!?
おい!?
まてよ!

おや……
ラドリは
どこだい?
それに
日時計は
……?

おかえり
バーダ・
マニ・ハナ
………
おやこれは
お客さま…

夢飛行の
用意だ
フォリン
ラドリが
さらわれた
ああ…そりゃ…
どうぞ…こちらへ……

なに?
いったい――
ラドリが
だれに
さらわれた?
むこうがわの
連中だ
見たろう
彼が
消えたのを

それって
緑色の
もの…？
それも
一部だ
ナンセンスだ！
幻覚だ！
むちゃな——
じゃ
オーバー・ヒルに
もどって
ラドリを
さがし
たまえ
リンゴ
わたしの家で
わめくな

気をつけては
いたんだ
ラドリは
はっきりした
印をもっている
ねらわれやすい
だが　まだ
少年だし
こんなに早く
さらわれる
とは…
火事の夢を
見て　すぐ
スリランカから
飛んできたんだが…

あ……！

あの
火事のとき
ドアをおさえて
くれたのは
……
マニ・ハナ
そうだ
きみの
さけび声が
聞こえた

あれ
なんなの…？
むこうがわの
やつらって
……？

それには
ラドリを
もどしてから
答えよう
長い
話になるから

いいかね
いまから きみを眠らす ミラ
……ええ
まやかしだ！
だいたい…
シッ リンゴ
静かにして 予知夢で ラドリを さがすんだわ
きみは眠る
夢の中で ラドリを よぶ
——聞こえる かしら？
よべ
てまねきでも いい
すぐ 見つかる
そして こちらがわに つれておいで
ただし——
ラセンの 方向へ
ラセン…？
彼に絶対 手をふれては いけない
きみらは スパークする
ふっとば される
……
おねむり
ラセンに 近よっては いけない

見つければ
すぐ帰ってくる
カ　カメラで
とっといて
やるぞ！
もしなにか
ペテンをしたら——
ラドリ？
ラドリ

こっち！
こっち！
こっちへ
きて！
日時計はいらない！
飛んできて！
飛べる？
こっちよ！
キャ……

だめ！
そんなもの
いいから
……
あ！
キャア

ラセンだ！
ひきよせられる！
あれはあのラセンは——
助けてマニ・ハナ！
助けてサマティ！
どこかで見た…？
ぎょっ

日時計だ！

……！

なんだ？こりゃ！えっ？
ああ これは…？マニ・ハナ…？

飛んでいってしまった…！むこうがわに……

ミラ？
ミ……

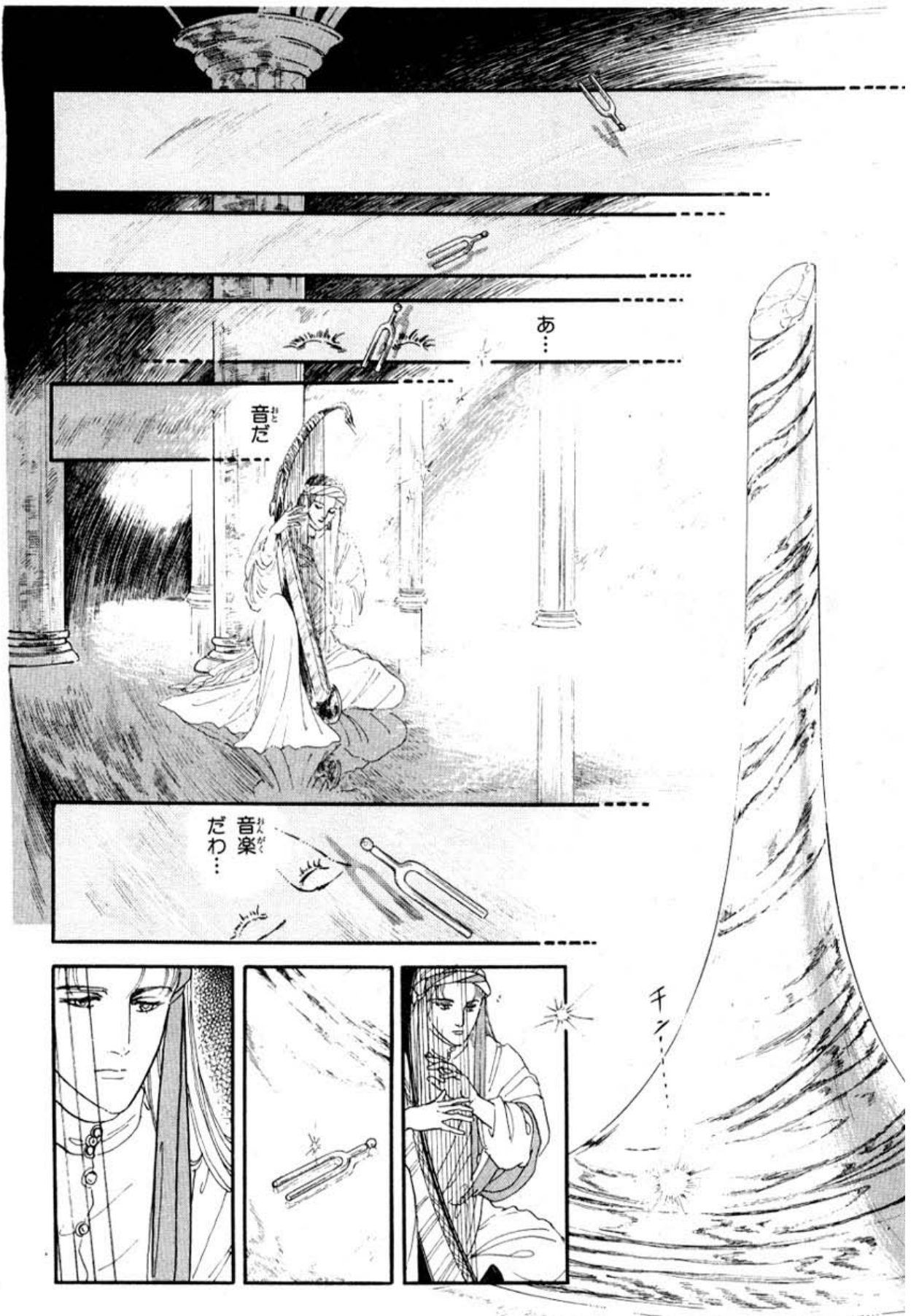
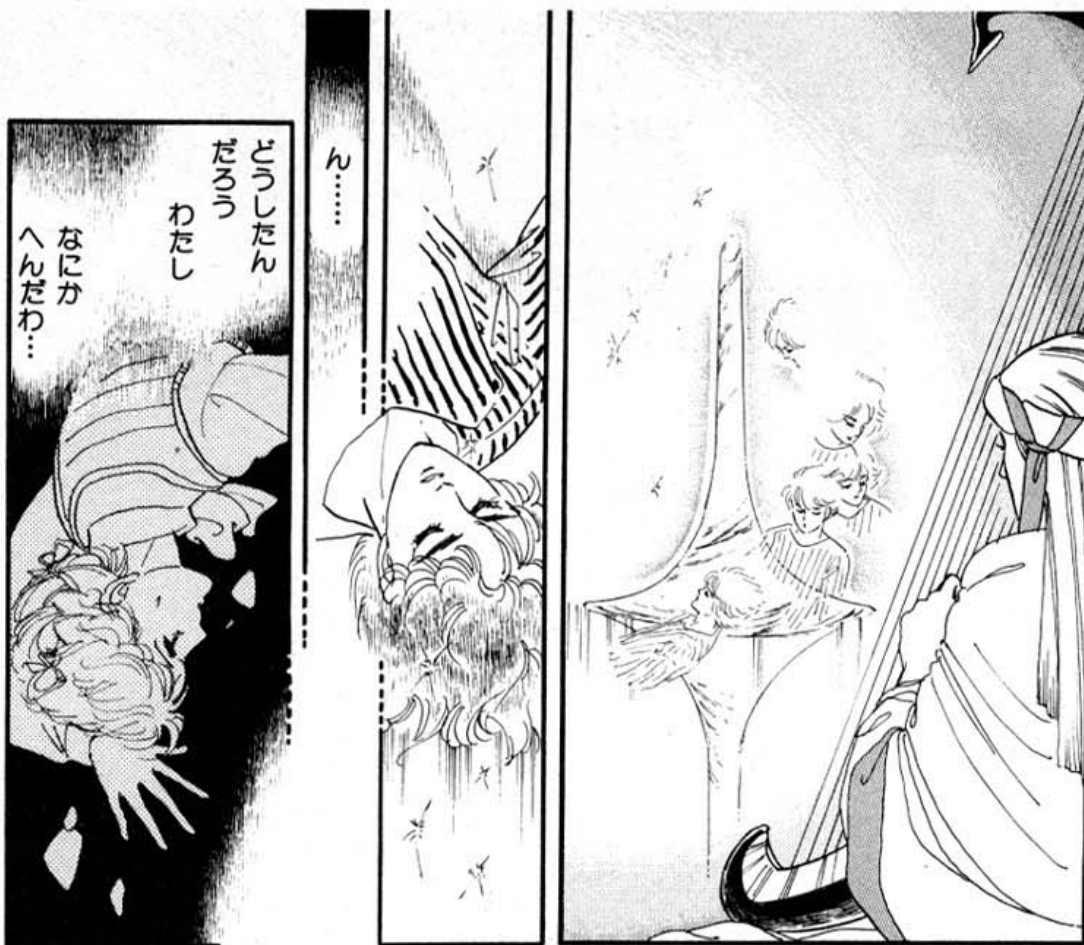
息をしてない！
ミラ
なんだって！

動かすな！仮死状態なのだ
ミラの意識はむこうがわへ行ってしまったんだ

このペテン師！

きみが
いま撮っていた
写真を
見てみろ
なに？
まあ
……
やめたら
ききき
ぐりっ
異次元だ
異なる星
大地
相互の世界の
ラセンは
つながっている
行って
しまったら
もう手が
とどかない
こちらからは
そんな…！
じゃ
ミラは…
ラドリは…
どうなるの
マニ・ハナ！

あ…
音だ
音楽だわ…
チン

ん……
どうしたんだろう わたし
なにかへんだわ…
あれ？これは
ラドリだ
ラドリだ
ラドリの閉じた意識だ
あ!?

これは ラドリの 目に映る ものだ！
わたし ラドリの中に いるんだわ！
ラセンか……？
ラセン？
これまでにも……… いろんなものが その柱に飛んで きたが
生きてる ものが 訪れたのは はじめてだ

センジ！

ここだ
リーマ

センジ！

ええ
──!?
サマティ

冬宮の
兵たちがきた！
血相を
変えてる
冬宮の
兵？
ばかな
………
ち ちがう
よく似てる……
ああ
びっくりした

だれかが逃げこんだ
らしい ここいらに
音律堂には
わたしひとりだ
だれもきや……

……

これ？
……うむ
これは封じておいたほうがいいな……だれにもいうな
いわない
封じ？……香料？
ら
ややや やだわたしだってまだなのに！
らっ
さわんないでよラドリに！
起きてよラドリ目をさましてよこのォ！

立って
ついておいで

そうか
つかまったんだわ
マリオネットみたい
封じるって
こういうこと
でも いったい
ここは どこなの……

楽師センジ!

冬宮の命です
音律堂の中も
調べさせて
いただく!
どうぞ
隊長どの

どうぞ わたしは しがない 楽師
はやく上がっといでリーマ
はい
ダダダダダ
……
太陽が 三つある!?

わたし いろんな 夢を 見るわ
ミラも 予知夢を 見るのよ
それは おもしろい
太陽が 二つも 三つもある 夢
じつに おもしろい
ま まっ まって
ええと ええと
夢の中 から
ラセンに すいこまれて
そして
だれもこないと いうのですね 楽師センジ?
ギク
ここは しがない 音律堂
うーむ
あ!
この人 あたし ――いや ラドリを 見ていない!
この人だけ じゃないわ!
兵士はだれも こちらを 見ない
なに 封じるって あたし透明にでも なってるの?
楽師センジ これは なんです?

それは楽師のものです
下手な細工ものですが……
ほうめずらしい
さしあげましょうか
まさか！
〝食〟でもないのに楽師からものをもらうなぞ！
おいひきあげるぞ！
次の領地を調べろ！
これは？センジ
合金の音叉だ
彼と一緒にあらわれた
部屋につれていって休ませよう
おいで
やっぱり
ここはマニ・ハナのいってたむこうがわだということは……
あの緑色のものがどこかにいる？

どこにも見あたらぬと……?

あれは絶対こちらがわへきているはずだ!

さがせ!

必ず見つけだせ!

ラドリ起きて!

あたしひとりじゃどうしていいかわかんない!

マニ・ハナ
ミラを助けら
れるの？
なんだ？
だれかきた
──フォリン！
カタン
……
こまり
ますよ
マニ・ハナ
オーバー・ヒル
から
もってった
ラドリと
日時計を
返して
ください……
……オーバー・ヒルの
院長だ……！

カチャリ

これはみなさん
おそろいで…？

オーバー・ヒルの
院長……？
おお
うちの
日時計！

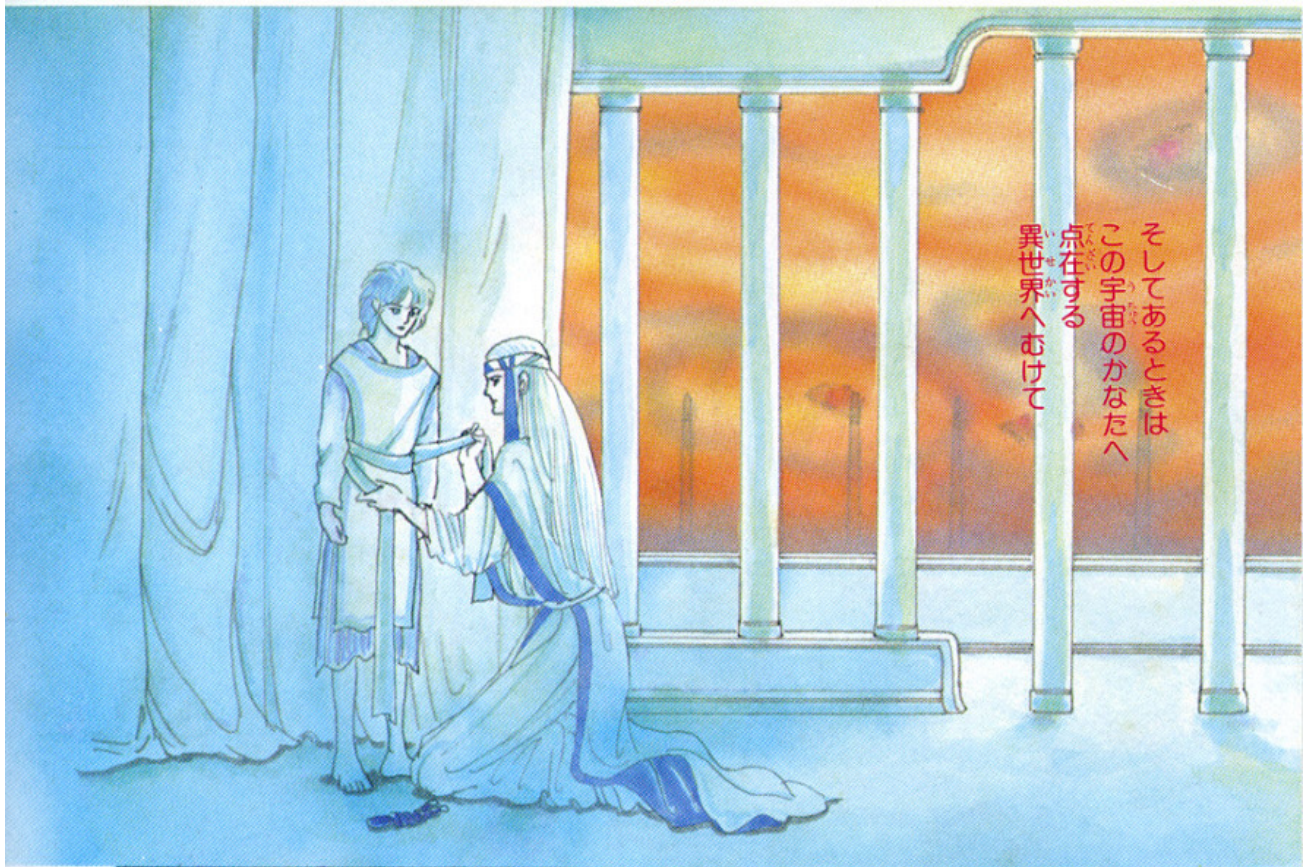
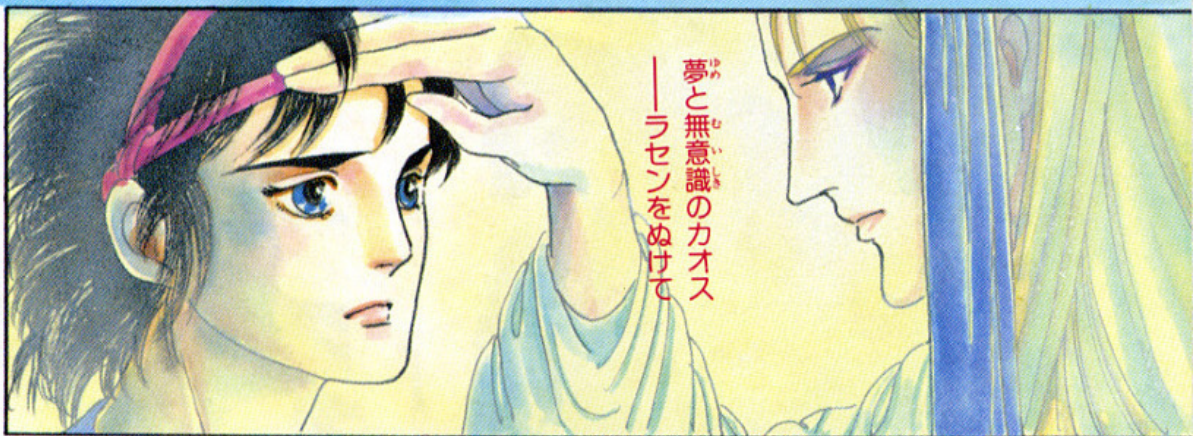
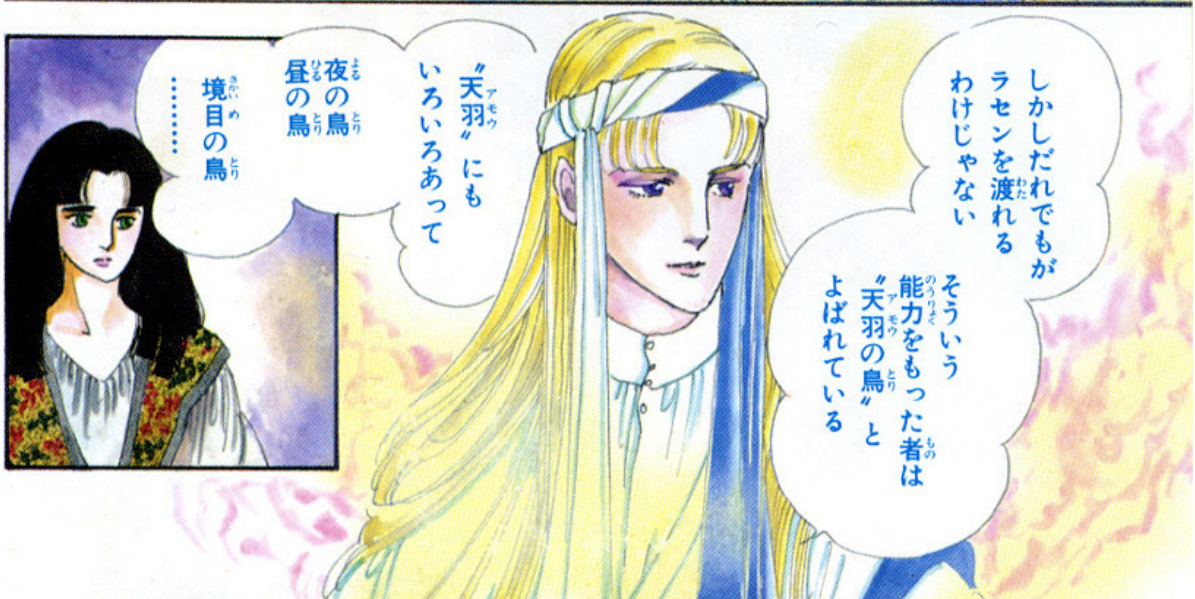
おや……？
ここでいったい
なにを
なさってんです
みなさん……
ラドリは……？
院長

どきっ

ウ〜〜〜〜

フォリン！

彼から臭いがする！
!!
わたしが？わたしは清潔なもんです わたしがなにを……
ブツ ブツ ブツ
わ わたしは日時計さえもらえれば用はないんだ！
〝密入国者〟だな！
あ あんたらは——

あらゆる時と時代に
異次元へのとびらは
ひらかれていた
ある時は
未来に　ある時は
過去に――

そしてあるときは
この宇宙のかなたへ
点在する
異世界へむけて
夢と無意識のカオス
──ラセンをぬけて
しかしだれでもが
ラセンを渡れる
わけじゃない
そういう
能力をもった者は
〝天羽の鳥〟と
よばれている
〝天羽〟にも
いろいろあって
夜の鳥
昼の鳥
境目の鳥
……

これ本当の天羽？
ふつうの人に見える
天羽は異世界のふつうの人さ
見てごらん
さ もって
弾いて
わぁ！
天羽はなんでもできる
天羽伝説のことを聞いたことがあるだろう
ええ
太古異世界から人びとが訪れこの地の人びとと共に暮らすようになったが……
流行病や飢饉争いが起こり
天羽たちは追われて再び異世界へ去っていった
だがなん人かは残って我われの仲間になった

時どき生まれる預言者や夢飛行者は天羽の子孫だという
へー
ここでは異世界のことが伝説として知られてるわけね
夢飛行者は夢の中で異世界の者と語ったりすることができる
この天羽もじゃあどこかの夢飛行者がよんだの?
よぶ呪文は山ほどあるが…
だれも成功した者はいない
………
冬宮の兵がさがしていたわ!
黒の王かもしれない!
黒の王?
だって黒の王は呪術を使うという話だものもしかして……
ちがうよリーマ
天羽はくるべき者のところへくるこれはわたしのところにきた
これはわれわれの天羽だ

パパーーン
船だ!
船だぞォ!
船?
なに?
見に
行きたい
あらら
?
なんだ
ぬけ出られ
たのか
わたし
ちょっと
見て
こよう
船だ!
王子!
ダダ王子!
王子だ!
王子が
帰って
きた!
〝食〟は
まぢかい!

徹晶湾ですよ
四年ぶりだ
——ダダ王子
おなつかしいでしょう
………

いよいよですな!
……先は長いよチョイスン

王子
おかえりを
まっていまし
たよ!
ダダ王子
どーも
楽師長
隣国の大学で
よく勉強
なさったか
王子

ふーん
ダダ王子
ねえ……

おーっ
センジ!

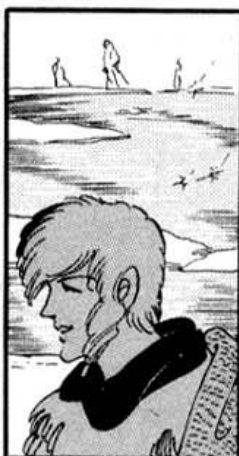
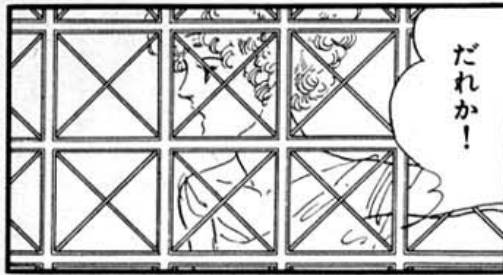
あれっ!?

あのチビの
消えたり
現れたり
してる
のは…?
変わって
ない
ハハ
だれかの
イメージ
……?

……
あ!

ダダ王子の
イメージだ
…むかしの…
小さいころの
思い出

はははは

ああ……
だれかこの岸でおぼれたのね…
きれいな人
……やだなあ
いろんなものが見えるんだわ
わたし
ラドリの体の中に帰ろうかしらん
……
あれ？
あららこれはだれ？
過去ってかんじもしないいし
……
シュワッ
!?
シュッー!
パキ

ああ
わかつた
この子の
見ていた
夢の…影ね
さつきのは
……
王子の
知りあい？
だれか！
微晶湾に
船が入った
か!?
まあ
スピカ様
お耳が
お早い
たった今
伝令が
きて
ダダ
王子？
ええ
港内の
音律堂に
おかえりに
お育ちの
地ですもの
むかしは
よく
姫さま
たちと
お遊びに
いらして…
美しい
ララニーア
花のような
ララニーア
しつれいを
お
おそれ
いります
いいさ
姉君の
ことなら
あたしも
覚えてる

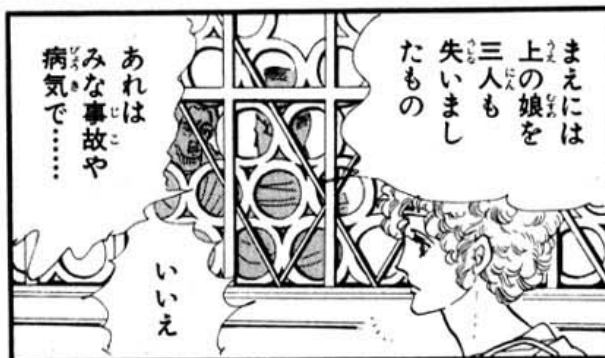
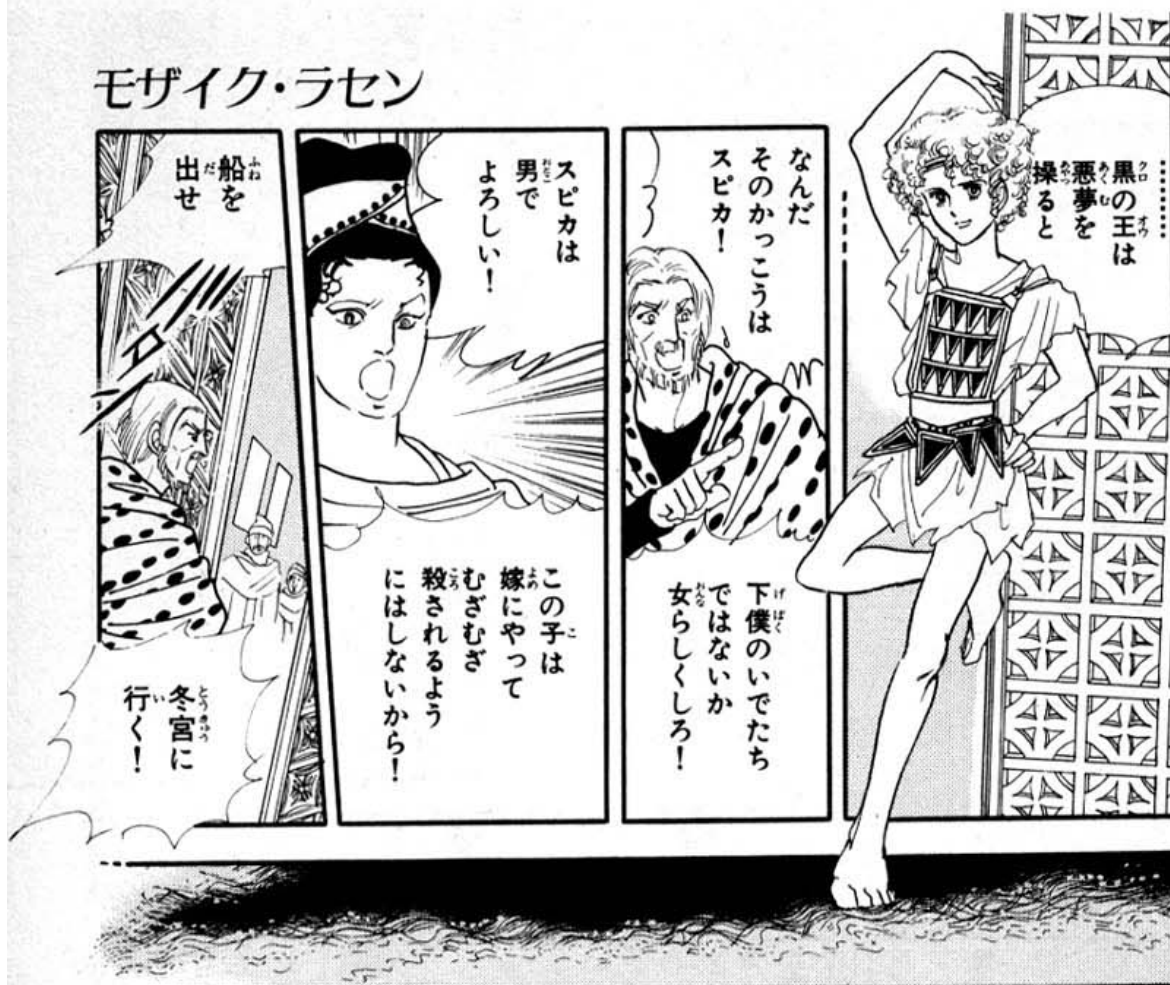
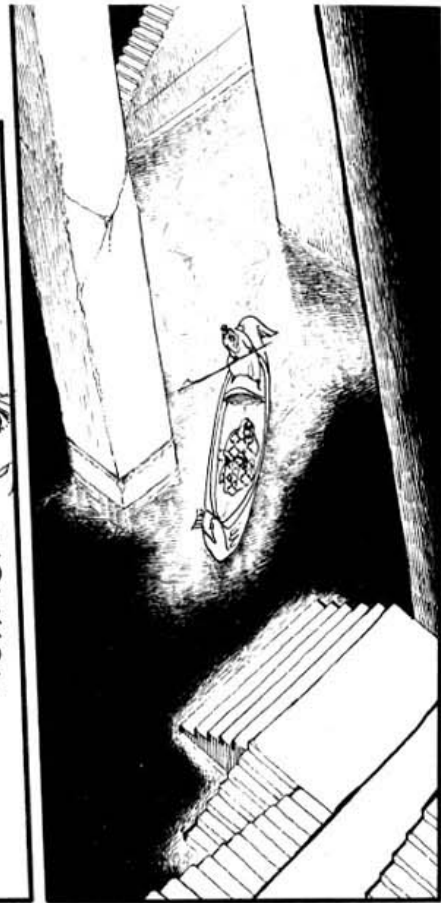
姉君は15
ダダ王子は13
婚約した
直後だった

むねを少し
わるくしてたから
水辺で発作を
起こしたの
だろうと

ダダ王子は
それから
隣国の大学へ
留学して
しまった

そして
やっと
帰って
きた

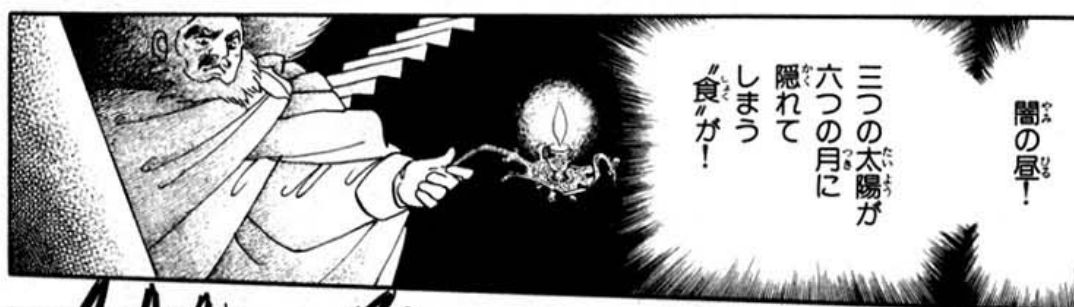
四年ぶり
……
帰って
きた
……!!

……黒の王は悪夢を操ると
なんだ そのかっこうは スピカ！
下僕のいでたちではないか 女らしくしろ！
スピカは男でよろしい！
この子は嫁にやって むざむざ殺されるようにはしないから！
船を出せ
冬宮に行く！
冬宮…… 黒の王……
……母上
おまえはどこにもやらない
あの人はどうかしてる 目をさませばいいのに

……ついてはきたけど……
こわくなって きた
帰ろうか なア
でも ラドリをよんだ者の正体を見つけないと……
コツ
なんかこわい ちょっと この人の中に かくれていこう
スッ
ふう
すべて 二十年前に 黒のライガンが現れてから 始まったのだ
コッ
地方の一領主 だったライガン
人の不幸を 利用して 出世していった ライガン
わしは 彼に ついたほうが 利口だと 思った
コッ
まずわしの姉を やつの 嫁にやった
姉は死んだ
コッ
さらに 上の娘二人を 嫁にやった
二人とも死んだ
そしてある夜 一角の王が死んだ
残された 王妃は ライガンと 結婚した
二年後 王妃も死んだ
そうだ大臣の ハムとロースも それから……
コッ
スー
こ こわい この人の 心のほうが

わっ!
わっ!

わ……あ
暗い
イメージが
暗い
こ この
死人の
イメージ
だれのよ
なんの
用だ!
わっ!
黒のライガン王!?

おお…わ
わたしですよ
にいさん…いや
ライガン王…
黒の王……
ギロッ
忙しいんだ！
用をいえ！
は
し
〝食〟が
まぢかです
あ　あと
四十日
あまり
生贄の件で――
二百年前の
〝食〟と同じく
三人の楽師を
選びました
三人？
少なすぎる！
三十三人の楽師と
三十三人の預言者を
選べ！
は？
し　しかし
ダダ王子が
帰ってきた
そうだな！
は
はい
さがれ
！
忘れるな
三十三人
ずつ
だぞ！
は
はい

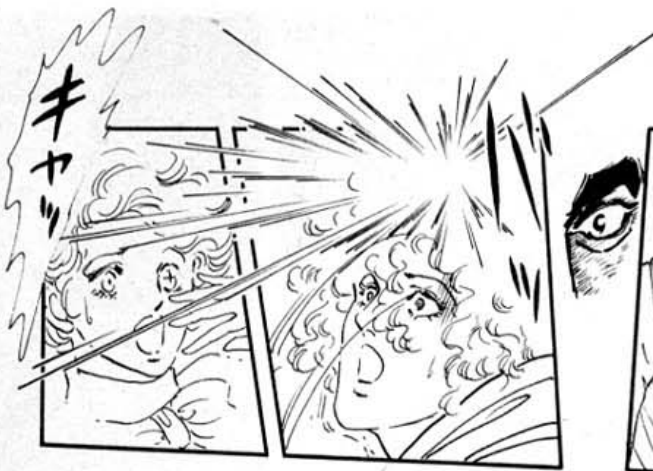
こ こ……
こ こわ……
〝食〟だ！
近づいてくる！
〝食〟がくる！
―刻―刻
どうしたの？
地下室？
闇の昼！
三つの太陽が六つの月に隠れてしまう〝食〟が！
天羽はまだか！

シェジュ！

お…王よ
黒の王よ
天羽の鳥は
こちらがわに
きています
弟が
そう
いってます

だが
わしの手に
入らぬのなら
こぬも同じだ！
もう一羽よべ
すぐに！

すぐは…とても…
つかれて……
一年
がかりで
長い呪文を
となえた
のです
この一年の間
ひとつの陽も
見ていない

じゃあ
彼らが
ラドリを
よんだのか！
黒の王に
命じられて
一年といったけど？
……ラセンを通るとき
時間がずれて……
地球のほうでは
八年の長さに
のびたのかも……

いいか
わしは
"食"までに
天羽が
どうしても
必要なんだ！

王……むりです……弟は弱ってて……
キャッ
ギャアアー
シェジュ
……見せ物小屋からひきとっておまえらをここにつれてきたのは……
天羽をよぶ力をもってたからだ!
役に立たんのなら……
よびますよびます!
やめて弟が死んでしまう
やめて!
〝食〟までだぞ!

……そう
密入国
密入国と
いわなくても
いいでしょ
ええ
わたしは
〝カメロ〟て
世界から
きたんです
緑の空と陽の
しょーが
ないでしょ
地球には
異世界用の
税関も
ないし
ウ〜〜〜
その
オオカミを
近づけ
ないで!
わ　わたしは
おどろくと
ジンマシンが
でるんです
フォリン!
ジンマ
シン……
ち　地球を
スパイに
インベーダー
だな!
そんな!
わたしは
ただの
出かせぎ
労働者で
これでも
ドクター
なんですよ
この
日時計は
?
ドクター

空間移動器……ですよ
それがないとわたしはどこにも行けない
国には妻子が……
ドクター
あなたは異世界についてはわれよりくわしいらしい

このさい協力してください！
あなたのこともいろいろ聞きたいが時間がないしそれはあとにして

協力したら…いじめない…？
ホント…？
日時計もかえしてくれる…？

ラドリのことは知ってましたか？
いやァ ぐーぜんうちの病院にきたんだね
知ってたら……

もっと早くに緑色のものを追っ払う方法もあった
あれは〝夢人形〟とかいう方法でね
まあ〝悪夢〟だ
やーな呪文だ
復しゅうなんかによく使う
ラドリをよんだのはろくなもんじゃないね きっと

わたしもそう思う
この子は？
……体を異世界にもってくしかないねえ

フォリンを助手に
えっ！

ああ……しつれい
わたしも驚くと
つい本性が……

だいじょうぶかしら……
あのドクターはベテランだ
我われよりは確かだろう
インベーダー実録ルポ
わたしは異次元人と会った!
オオカミ男を見た!
貴重な体験
ムムムム
どこまで落ちるんだ?
耳をひっこめてくれ
ジンマシンがでる
地球のオオカミ男ははじめてだ
まあ……わたしも異世界のカメレオンは
はじめて

そろそろだ
日時計は
いじらんように！
こっちの腕時計と
針がずれたら
帰れなくなる
O・K
ありゃ
なんだ
“悪夢”の
かたまりだ
とっつかまらん
ようにしろよ
あの中に
入ってく
のか？
わしゃ
だいじょうぶだ
じゃーな
……

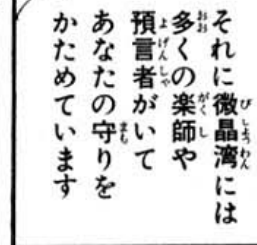
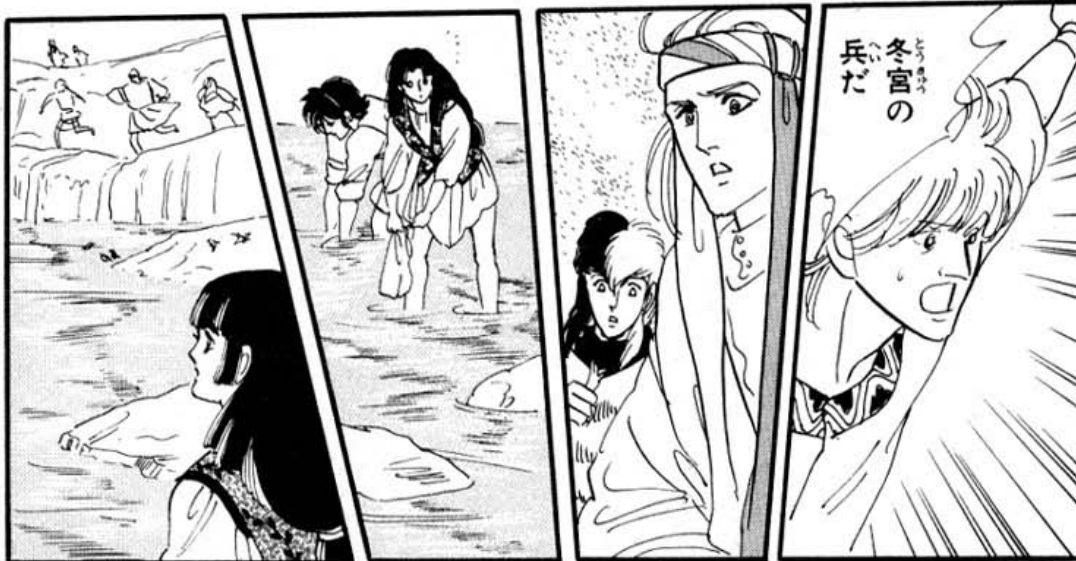
バチャッ
すごい すごい センジ見て！
ほう いい腕だ
なんでもできるのよ いわれた数だけ串ざしにできるの
好きにして
う〜〜〜 黒の王ショックで わたしダウンよ
なんとかしなきゃと いつても怖いし……
センジ見て!!
まっすぐ歩いてといったら壁を伝って……
……
重力は関係なさそうだな
人に見せちゃいけないよ
うん！ふたりの天羽だものね！

ヨーイ センジ！
ダダ王子
リーマちゃん あっそぼ！
やだ
クス
クスクス
王子ったら こどもみたい
水色貝をやいたげるまってて
大きいのとってくるわ
おいで天羽
たくさんね！
じつは大学で勉強しすぎてパーになってしまった
ほんと？
なんか食えばなおる
あの男の子弟子かい？おまえの
——のような
……
センジ！
オレは楽師になるよ！
王位は継がないおまえの弟子になる
ほォ
センセ！
おねげえですだ！
なにがあったんです？

ダダ王子
ここですか！
なつかしい
かたが
見えましたよ！
だれ…
ドキッ
ヨオ
ララニーア姫
やァ
チョイスン
あ！
スピカ
姫か！
見ちが
えた！
オレは
姫じゃねえよ
姫がひとりで
こんなとこくるか
じゃ
なに？
スピカ
王子
ほー
ほー
さっき使者が
冬宮へ帰郷の
あいさつに
行きましたが
黒の王には
会えなかった
そうですよ
王子
ふうーん
黒の王は
ここ一年めったに
だれにも会わず
ひどく〝食〟の日を
気にしてるそう
ですよ

黒の王は“食”を恐れているんです！
あなたは一角の先王のわすれがたみ！
“食”が明けて17歳になったら王位を継承できる
まえの王様
王妃
再婚
黒の王
ダダ王子
王位にはつかんよ楽師になるんだ
または“正式な結婚”でもいいけど
“食”まであと二十日足らずまちどおしい
……
ああランランラン！
ふーん
えーとこういう関係かハムレット的ね
また！なにを！
この王位継承の条件は議会がつくったんですよ亡き王妃が命にて――以前黒の王と再婚なさったときに！
亡き王妃亡き一角の王亡き乳母……
まァこのころは赤ンボだったがね
とにかくオレはもうやだよ亡き亡きローマ大臣亡きハム…
……亡き婚約者ララニーア……
……！

王子
いかに強力な
呪術といえど
限界はあります
ラライーア姫の
悲劇が起こって…
我われは
留学を口実に
隣国に
のがれた
そして
〝食〟を前にして
帰ってきた
なんのために？
黒の王から
王位をとりかえす
ためです！
我われは
命に
かえても
あなたを
……………
それに微晶湾には
多くの楽師や
預言者がいて
あなたの守りを
かためています
スピカ
呪術は
弱い者に
はねかえる
オレのそばに
いると
まきぞえを
食うぞ
ハハーン
ここらで
一番弱いのは
てめーだろ
背ばかり
のびて！
がじ
オレは
よく
おまえを
泣かしたよな
泣き虫ダダ！
いまも
かわんねーよ
！
……おまえも
かわん
ねーな
くちの
悪いところ
ラライーアは
15のころは
淑女だっ
たぞ
がじ
がじ
シスコン！
ガキ！
ペチャパイ！
アホ！
………
………

ワァァ……
なんだ?
センジ!
たいへんだ!きてくれ!
ズザザザ
冬宮の兵だ

〃食〃の生贄だ!
三十三人の楽師と三十三人の預言者!!
なぜだ?
三人の老楽師だ去年から名もきまってた
〃食〃に大津波がくると?
水位があがるだけだ!
黒の王の命だ!
ビッ
音律堂はそんな命をうけとるわけにはいかん!

こいつは反逆罪だ!
ワァァ
老楽師になにをする
無茶な!
あなたが行ってもダメだ
ダダ王子!
挑発だだめ…
よこせ!
反抗する者はとらえろ
なにをなさる王子といえど………
ワー…
センジ!
天羽 助けてセンジを!
天羽!

なんとかして
――
王の兵を
ぜんぶ
水の中に
たたき
こんで！
わっ
わわ？

!?
ザザ
ザッ
ザザザザーッ
!!
シュワッ!
天羽(アモウ)か!? リーマだ!
なっ なんだ
シャーッ

ポカン
……
ふっふ
くっ！
は
はっはっはっはっはっはっははは
黒の王は三十三人でも少なすぎるといってたが
本当だ！
は…

そこの老師
楽師長が
ひとりめだ！
楽師センジが
ふたりめ！
……
……
残りは
おまえたちで
選べ！
五日以内に
生贄の名を
登録し
〝食〟の
準備を
はじめる
ように
以上だ！
いまのは
なんだ…？
風か……？
風が
急に
……
……
センジ！
リーマ
もう家へは
帰れないだろう
なんにせよ
忙しくなる
ダダ王子
リーマを
あずかって
くれないか
その
少年も
センジ
！

わたしの箱を知ってるね
白い あれをあげよう
あなたが死ぬんなら……
……! なんとかするわ……! なんとかするきっと!
……リーマ
わたしも死ぬから……!
スピカ!
おまえの船は?
!
ダダ王子!?
冬宮か?
ああ

黒のライガン王！
おひさしゅう
——義父上！

ダダか？

ひとりできたのか？

ええ！留学から帰ってきました
お元気そうで！

ふむ そうか そうか
背が高くなったな
こんなに小さかった赤ンボが——
いさましいすりきずをつくるようになって——

いずれ…わしのあとを継いで
立派な王になることだろう

立派なライガン王
三十三人の生贄とはまたオーバーな

ダダ
なにしろ二百年ぶりの〝食〟だ
一列に並ぶ三つの太陽と六つの月！

しかも半日も続く〝闇〟だ
どんな天変地異が起こるものやら

わたしは〝食〟なんかこわくない

かわいい王子
用はそれだけか？
いまは争いたくないおまえと
王はわたしだ

……生贄は中止させるぞ！
おまえのどこに
そんな力がある王子

船を出せ
ダダ！
冬宮はへんだ！
死の城だ
スピカ
結婚しないか
オレは
スピカ王子
結婚する
王位を継ぐ
〝食〟の前に
そして
生贄を
とりやめる
命を出す
アホ
ロコツだよ
やりくちが
おまえは
もっと
こっそり
やんな
きゃ
こっそり？

黒の王の暗殺

むかしは…よく冬宮の小路に毎夜死体がプカプカ浮いてましたよ
ぜんぶ刺客でした
黒の王は用心深い暗殺といっても…

黒の王に女はいないのか？
寝室はどうだ！
あそこならだれでも――

女は無理だよ
どうして！

わたしが行く！

どんなことでも
やる　センジの
ためなら
センジは
みなしごだった
わたしもそうだ
わたしを
ひろって
髪をすいて
歌を教えて
くれた
わたしは
小太刀が
使える
チョッ
チョッ
チョッ
王は
ねている
さァ
どこを刺す？
おそい！

気配を消さなきゃダメだ
オレが女装して行ったほうがまだいい
あんたらはね長いこと国を離れてたから知らないいんでしょうけどね

あの王は女じゃダメなの男!
若くてかわいい男の子がいいの!

彼になら殺せる! 彼は天羽の鳥だもの!
天羽!?

え?
預言者や楽師たちに伝わってる伝説だよ彼らの先祖の話
センジがそういってた!

天羽ならなにができる?

ぱちっ

あ！もう気がつきましたかお嬢さん
よかったよかった
え？
あっ？わたしの……実体!?

でかした！
天羽の鳥を
二羽もとらえたぞ！
黒の王
！

脱げ！

天羽は
衣を
はがされたら
もう帰れぬと
いうからな
え？
ええ？
え――っ
パ　パンツぐらい
いいでしょ
娘はその
柱のかげで
衣をとれ
その箱に
かわりの
布が
ある

なに
いったい　これ
これ
わたしの
体よね
えーと
じゃ
わたしの
意識は
やっと
体に
もどったん
だわ
そして……？

あ　あんたは
王様ですか
そうだ
わしは
黒の王
〝食〟の
ために
おまえらを
よんだ
手助けが
いるのだ
〝食〟は
二十日後
逃げたら
殺す！
バターン
いまの
ほんと？
帰れないって？
シーッ
帰れるよ
腕時計が
あるから
しかし
おっかない
王様だな
わしは
ドクターだよ
オーバー・ヒルの
マニ・ハナに
たのまれて
……………
ここは
地下牢かな
ドク
ター？
この人たちが
王の命令で
ラドリを
よぼうと
したらしい
の
ギク

あんたらは兄弟かね？
どうやってよんだんだ？
王が……呪文を教えたので……となえて……
緑色のろう！
いわれたとおりにローソクをもやして……
これだ！たくさんのローソクのろう！
とけたローソクが呪文といっしょにラセンをこえてラドリの両親をとかしていったんだわ
シンか核があるはずだ！
シン？
ラドリだ

フッ……
フッフッフッ
フッフッフ…
ついに!
天羽の鳥を手に入れたぞ!
ババッ

見ぬ顔だな!
どうしてそこにいる?

フム!
いつもなら追い出すとこだが
今夜は気分がいい
どこぞの大臣がゴマすりに送りこんできたのだろうが
こいかわいがってやろう

それをこわせ!
ラドリが眠りから覚める!

どう
やって?
割れろと
念じろ!
くちが
きけんのか?
無口なのか?
まァいい
おしゃべりは
好かんからな
もっと
強く!
割れろ
割れろ
!
うわっ

ポッ

グ
ブ
──だれに
たのまれた!?
……?
……?
だれだ…?
あんた
……
なに
?
火事……
あの
火事は
?
オーブン
レンジが
爆発して…!
……
正気の目だ
さっきと
顔つきが
ちがう!
術でも
かけられて
たか?
…術?
そうだ!
おまえは
この剣で
…!
!?
銀の剣!!
──これは…!

あっ！
賊だ！
止まれ！

ラドリは目を覚ましたか？
覚ましたけど混乱してるわ
それよりだれかが中庭を追われてる…
チェイスンだ！けがをしてる！

助けなきゃ！……意識だけのときは飛べたんだけど……
ためしてみればいい

そうよね！ここは異世界だもの えーとえーと
と 飛べ！

ダダ王子をとらえよ
反逆罪だ!
はっ

………
あんたは…
どっかの王様なのか?

フッフッ
そう おまえは国王の暗殺にきたのだぞ
術をかけられてな
いつもなら首つりだ

だがわしはおまえを殺さん
この剣を見よ
おまえのか?
…さあ?

これはな わしが地方にいたころつかえた女にやったものだ
この銀の紋がそうだ!
わかるか!?

おまえの剣ならおまえはわしの息子だ!
……
息子……?

チェイスン!?
暗殺は失敗ですダダ王子…
チェイスン!だいじょうぶか!
じゃ天羽は殺されたの?
いえ王のとこにいるわ
でも術がかけてあるのよ天羽はわたしかセンジだけが動かせる
術はとけたわ
ダダ王子逃げて!
王の追っ手がくるわよ!
おいきみ…!
いまのはだれだ?
とにかく逃げましょう
リーマは音律堂に残ってセンジと連絡をとってくれ
オレは天羽がどうなったか調べてみる
あぶないことするなよ
ダダ王子が反逆罪だって?
黒の王の暗殺を—
王子は逃亡中だ

黒の王の顔を見たか?
どうしたんだこの一年で
ヒソヒソ
ザワザワ
あの肉のそげようは
おおあつまったな

大臣たちにひきあわせよう行方不明だった息子
ラドリだ

ザワ
息子?
息子?
おそれながら王……!
御子息の話ははじめて聞きますが……

ビッ

ハァハァハァ
おや顔色が悪いようだなサーロイ大臣

おめでとうございます黒の王
あとつぎも決まりごあんしんですな

おめでとうございます

いや あきれたわ！ いきなり 王の息子が でてきて
なんで すの？

黒い髪の 15・16の… どっから 見つけて きたんだろう 本物の？
わかる もんか！

ねえ父上！ その息子は ご学友なんか いらない かなァ？
スピカ！

ふー

地下は しけって… 空気も よどみ… 寒くて……
〝食〟までに 病気に なりそう です 王よ

病気はこまる ふむ じゃ昼間は 井戸の中庭への 鉄戸を開けといて やろう
いったい どんな助けが 必要なので ございますか

それは〝食〟の日に わしが指示する まっておれ

ほー!
なるほど
井戸の底の
ような
中庭だな
シェジュ　わかるか
光だ!?
弟さんは
ひとりでは
歩けんのかね?
ええ
わたしたちは
双児で
生まれつき
はなれられ
ないんです

わたしは
生まれつき
醜く
弟は美しい
んです

それは
なにもできない
弟さんの負担が
あんたにかかって
るからさ
ひきはなせば
あんたの肌の
カサカサは
たぶん
なおるよ

ひきはなす…!?
わたしたちは
ふたりに
なれるんですか?
ラセンを
利用すれば
かんたんに
できるよ

ふたりになる
……………!
ふたりに
ひとつの
名前でなく
べつべつの
名で
よばれる
……………!

あ……！
ラドリだ
ラドリ
ラドリ
なにを見てる？
中庭に……
あんなものは見るな
地下牢の囚人だ
〝食〟のためにな
それより こい
おまえのために学友をよんだぞ
スピカ姫だ
おてんばな姫らしいがなかよくやれ

"食"ってなんだ?
へー知らないの
徹晶湾で祭りがあんのさ
生贄を昼の闇にささげてね
三十三人ずつの楽師と預言者さ
こいつ頭がぼけてんだな
……
外に行こうぜ!
街はにぎやかだ
でも…王が…
こっそり行きゃいいさ!
黒の王ふたりが出かけました
つけろ
はっ
ラドリが出かけたわ
追ってみる!
気をつけてな

ここはどこ？スピカ
金商街の市場よ
……！
こっちよ！
グイ
さっ

王の息子をつれてきたわよ！
あんたたちは？

オレはダダ王子
きみはもともと我われの一味なんだ天羽！

暗殺を命じたのはわれわれだ
…でも…黒の王は……

息子だと思われてるならなおいい！
スキをねらって
…ぼくは彼の息子じゃないのか？
あんた王に洗脳されたのよ！

反逆者の一味はここだぞ!!

ダダ王子をとらえろ!
王子!
逃げろ
ダダ王子
早く
こっち!
スッ
!?
ダダ王子!
つけられてたんだ!
なんてこと!

フワ

目が…
まって

上を向いて
こすらないで
よけい
しみるわよ!
パチャ

………

ミリディアン
………?

ええ
ラドリ

………
お城の
中庭に
いた?

そうなの お城に とらわれ てるんだけど
あなたを 助けに きたのよ
助けに…？
いろいろあるの
―― あたしたち ラセンをとおって この世界に きちゃったの
でも もとは 地球にいたの
あなたは イギリスの ホーブに 住んでて…
思い出した？
……
……わかんない…
だって……わかんないよ
ぼくは 刺客だったり …王子だったり
いっぱい 夢を見たし…
いまも 夢だか ……
きみいつも 夢に出て た……
夢で 会ってたわ
でも いまは 本物よ
そばにいるわ

どう本物でしょ？
……よくわからない…そんな気もするし……
あたしミラっていうの
白川 美羅
美……羅
ほら心臓がドキドキいってる
この鼓動はほんものよ
ねえわたしたちこの世界では天羽といって
超能力がつかえるのよ
超能力？
ラドリお城にもどったら黒の王の秘密をさぐって
…秘密？

ええ！黒の王が〝食〟を恐れてる理由を
なぜ？
わたしダダ王子の味方なの
ラドリも助けてあげて
ダダ王子がつかまった！
王子が……
王子が…
……ああもうダメだ
センジ
ぶじでしたかスピカ姫
わたしのせいよ
それに天羽はダメ王の毒気にあてられてて
ほかに方法がある
われわれは今ぬけみちをさがしているんだ
ぬけみち!?

あの雫岩の上の雫堂が生贄の場所だ
水位が上がれば岩は水中下へ没してしまう
古い文書にあの雫堂の地下にぬけみちがあると記されている
微晶湾の地下一帯は巨大な鍾乳洞の迷路だ
それが見つかれば……！
生贄は全員脱出できるわね！
なんで帰らないいんです!?
ラドリは見つかったし異世界は危険だフォリンもまたせてるし
―フォリンにとっては一二時間のことだが
だってほっとけないわダダ王子たちを知りあいなのに
それに黒の王の秘密を知らないとまたラドリはさらわれるわ
だいじょうぶよ！超能力が使えるし！

黒の王
いよいよ
明日は
〝食〟だな

スピ…
スピカ
黒の王から
急な使いが
いいか驚くな
おちつけ
おまえは
ラドリ王子の
花嫁に
選ばれた
すぐ
したくをして
冬宮に
ドン
………!!

黒の王――
〝食〟の祭りを
明日にひかえて
あなたの顔は
生気がない

生気がない？
フフ
当たってるな
その
正直さが
いいとこだ
息子よ

フフ…もちろん
おまえが
本当の
息子とは
思わんが
かまわん
いまさら
本物であれ
ニセ者であれ

こい
きょうは
わしから
おまえに
おくりものが
ある

バタ――ン

これは！
いつもと変わらず
いさましい
かっこうだ
花嫁
花嫁？

さ　ラドリ
手をとれ
似合いではないか！
婚約式だ
ささやか
ながら
……え

見物人もいるぞ!
ダダ王子!
どうした?花嫁花婿おまえらが青ざめることはないぞ
気分はどうだねダダ王子!
あんたこそ気分はどうだ
まるで死神だ百歳も老けたようだ
おおこい天羽たち!
いよいよおまえらの助けをかりるときがきた!

ミラ
ラドリ
聞け
むかし わしは いちどだけ みのらぬが 真実の 恋をした
人形のような カップルを 祝福しよう わしも こう なりたかった ものだ
恋が失われたとき 絶望のあまり ラセンの夢魔を よびだした
恋がだめなら 権力を 得ようと 思ったのだ
やってきたのは 絶望のうずまく "悪夢"だった
それはわしを 食おうとした!
だがわしは 強い意志で そいつを 支配し 利用した!
悪夢を 操る 黒の王!
そうだ じゃま者は 次つぎと 消した
おまえの 父も 母も 年上の 婚約者も わしの力で 殺したんだ
わしは 自在に ラセンの悪夢を 操れるのだ!

そのわしが
なぜ〝食〟を
恐れているのかと
おまえは
聞いたな
教えて
やろう
わしの命は
〝食〟まで
なのだ
飲め
〝食〟の闇が
空間のバランスを
狂わせる!
〝食〟には悪夢の
力は強まり
わしの力は弱まる
悪夢はわしを
食いつくす
だろう!
……
クッ
クッ
クッ
うれしいか?
王子
わしの
秘密を
知って
もうひとつ
わしの
秘密を
見せよう

これだ！
金緑石だ！
美しい石だろう
よくごらん
天羽の鳥よ
中にある
ものを
中に？
あっ!?
ミラ

ミラ!?

つかまえたぞ

天羽(アモウ)は宝石(ほうせき)にとじこめられた!!

これでわしは安全(あんぜん)だ!!

これはなに？
出して
助けてラドリ！
彼女を宝石から出してくれ！
なにをいう！
もう一羽！
げ
わ わしゃ天羽じゃありません
なに!?
天羽はそっちの……

ラドリ
つえを とろうと したら
おまえが 天羽!?
すいこまれ そうに なった
逃げろ ラドリ スピカ
キャッ
……!!

ざんねん
だったなあ
あんたの
息子は
……！
おまえは
あとでゆっくり
始末してやる
！
〝食〟さえ
すぎれば
わしの力は
もどってくる
見よ！
この光！
この光が
あるかぎり
悪夢はわしを
ひきずり
こめんぞ
ヒェェ
その男は
地下牢に
ほうり込め！
ラドリ
ラドリ！
助けて
ここは寒い
こごえそうよ

ラドリ
……天羽の宝石……天羽の宝石……
どっかにのっとらんか……
だからわたしが早く帰ろうといったのに……
天羽の宝石……
それは結晶体のラセンだと弟はいってる
ラセン？ラセンならどこかにつうじてないか？
結晶は道をもたない
結んでいるか解かれているかのどちらかだ
解く？

生贄の
預言者と
楽師たちは
雫岩に
わたった
〝食〟の
朝が
あける
あける
からみあう
太陽が
ひとつになる
やがて
月が
よせてくる
彼らの歌が
聞こえる

リーマ
天羽！
スピカ！

天羽をつれてきてくれたのね？
逃げてきたのよ黒の王のとこから

それより地下道は見つかった？
――だめなの
冬宮の兵が見張っててておおっぴらにさがせなくて

でもたしかにあるはずなのよ雫岩へ続く迷路が！

うん――ある
知ってるの？

…
――見える――

見て！
なに？あれまるでまひるのような光！

なんて明るい宝石だ！

闇を切りさいて輝いてる！

黒の王が〝食〟を見にきたのよ！

天羽の宝石を持って！

そうだ この宝石のある限り

わしは死なんぞ！

リーマたちは
なんとか
地下道をさがすと
いってたが
むりだった
みたいだな
雫堂の中は
くまなく調べて
みたんだが……
センジ
天羽──!?
早く!
水位が
増さない
うちに
地下道が
見つかった
のか!
いそげ

リーマたちは?
ぶじです
あの高殿の光を見たか?
ええ あれは……
天羽の宝石です
生贄ども!
逃がさんぞ!

黒の王!
なんだ?あの光は?
残念だったなネズミどもはみんなとらえた逃げ場はないぞ!
キャッ
リーマ!
すぐにそこにも水がくるぞ
決別の歌でも歌え生贄ども聞いてやる
だがラドリ!
おまえはべつだ!
こい!

あれは?
天羽の宝石……
中に美羅が……
天羽だと? 天羽をとじこめたのか?
天羽!?
かんねんしてここへこい!
すいこまれてしまえ!

天(アモ)……
あ?
それ!
それだ
A音(エーおん)だラドリ!
A音(エーおん)
A音(エーおん)!

４４４
ヘルツ

ミラ!
ラドリ!

おおお
終わりだ！ひとりではゆかんぞ！
みちづれにしてやる
ギャア
黒の王
王が
ヒロ
ラドリ！王子たちが！
ミラ！あいつをほうりだすんだ！

早く！
せなかにあいてるあの空間に！
みんな悪夢にまきこまれる！
わァ
うわァァァ
ダダ王子
スピカ姫
チェイスンぶじか！
水だ
みんな上へ！

よらないで
リーマ!!
銀の……剣……?
それはわしが……恋人にやった……
おまえはその子かも……

黒の王の体が流されていく!
もう体なんかない服だけだ
欲望のみでふくれあがってたあわれな王
欲望がラセンに吸いこまれたらなにも残ってない!
天羽は……?
それよりセンジの琴は?
水に落としたの?
あの合金の音叉と一緒にいなくなったか……?
ああ…

今日から あなたが 王です ダダ王子
！ 死に そうだ
すぐ外だ しっかり！
結婚して くれる？
センジ！
光！

水がひいたら 琴を さがさなきゃ
……

ドクター!
ほい!

王は?
分解して
消えたわ
A音を
ありがとう
ドクター
どうして
わかった?

いや
眠りをとくのに
なにか音を使うのを
……思い出してね
A音が
宝石に
きいたのか
やれ
よかった
じゃあ
とにかく
これで
帰れる
帰ろう

ドクター
帰るまえに
わたしたちを
……
あ!
そうだ
いいとも
シェジュ!

ちょっと
ラセンの中に
入って……
すぐもどす
ラセン内で
体を分けて
やるからね
こわくないよ
いいかい?

じゃ
そのまえに
わたし
制服
とってくる
王が寝室に
かくしてた
はずだから…
ひとりで?
?
大丈夫
かな

大丈夫
もう黒の王は
いないから……
ミラ
ギャアアー
ドクターー！
これ……
見るな！
黒の王の
しわざだ！
美羅は
どこだ!?
急げ！
ぐずぐず
してると
わしらも
……！

なに？やだ！まだボタン……
いいから早く！
ドクターの服もそこに……
カチ
ベストをわすれてきたわ！
あたりに注意してかけ上がれ！急がないと……
シェジュみたいにつぶされるぞ！
え

フォリン！
早く！

やれやれ！
よかった！
さすがベテランだねドクター

あれは？

黒の王の悪夢だ！
欲望に支配された悪夢だ！
こっちへくるわ！
マニ・ハナ！
もっとスピードをだせ
これでフルスピードだ

リンゴ！
これを！気をつけて持って！
ろうと？
四次元漏斗だ
シュッ
ポン
あれ？
うわっ そりゃガソリンだ 爆発する
ちゃんと もってろ こぼれる！
アウ
コポ
コポ
ん……な…
……え？
ガソリンと火は…どこに？

わっ!
きた!ふせて!
あ?

うわ
キャ
ミラ
いかん
ラドリ

グラ
キャ!?
わ?
ス
ドクターフォリン!
うわ
ぶじか?
ズズ
ズズーン

ミラとラドリは?
アクシデントがあった
きた!
ミラ!
早く外へ!
もいちど空間へ
まて!
大丈夫か!
ラドリ!
早く逃げろ!
キャー…

入ってくるな！
帰れ！
帰れ！
おまえのいた場所へ！
ゴゴゴ
帰れ

ガチャーン
わうわ
ウワッ

あきれたパワーだ…
目をつけられたはずだよ
どうよく眠れましたか?
ええ
しかし黒の王ってのはなんだったんでしょうね
悪魔と契約した男なんでしょうよ
ま なんでもかまいません
日時計さえぶじならわたしゃね
かたい病院のベッドで首がこった
窓がふっとんだあの家よりましでしょ
あ
起きてきた
もうやあんなの

おはよう
よく眠れたかね
………うん……
ぐっすり 夢も見なかった
タフな子だ あれだけの力を使って
もう回復してるのか
どうしたね？
コーヒーがあつい
実感がある
ハハ
あたしたち きょうは学校に帰らないと
そうね……サマティ
そうか あの家を修理したら またおいで もう危険なことはないよ
ホント？ なにもでない？
でないでない

カタッ
キャやゃやっ
や　やだ
ガタ
だれのしわざだ?
あんたでしょ! ラドリ
ぼくじゃない!
……
スタン
…………………
まえから……やれたのか
ときどき……
や……やろうと思ってやるわけじゃないんだ

コントロール法を教えないと

…コントロール？

超能力のね
我われはそういうサークルをつくってる

このオオカミ男もですか

そうだ
メンバーは少ないが世界中にいる
わたしが研究しているのは古代から地球を往来していた種じゅうの――

別の世界の生命体とその空間をつなぐラセンだ――

そのラセンに出入りしたりラセン空間を感知したりできる能力をもつものを探しているんだ

ラドリはいいメンバーになることね

あたしもやってみようとしたけどダメだった
こっちはむこうとちがうのね

残念なようなホッとしたような

さ 学校に帰らないと

おお
古巣よ
また
たいくつな
日びが
始まるの
ねえ
中間試験も
近いし……
でも
ミラは
いいわね
ボーイ
フレンドが
できて?
そんなん
じゃない
わよ
……
あれっ!?
ラドリ!
アハァ!
んじゃ
ねっ
なに……
マニ・ハナと
きたの?
いや
……
よく学校が
わかったわ
ね

次の休みいつ?

は……?
土日よ
……?
じゃ映画
行かない?
ロンドンに
いいのきてる

映画……?
土曜の朝
むかえに
くる
じゃ

………
ラドリってば
デートに
さそいに
きたのかァ…
わざわざ
学校まで
(あれ?
テレポートして
きたのかな)

うくくくく

ギャ
ポン

………
オレ
おっかなく
ない?

ないわよ
気味
悪くない?
ううん
べつに

《おわり》

プリンセス 1982年9月号〜12月号に掲載